

■活動レポート

遺跡を歩いて体感！ 考古学セミナー・現地見学会

主任専門学芸調査員 鎌田 勉

考古学セミナー・現地見学会

平成16年度に始まった考古学セミナー・現地見学会は、今年で6回目。現地見学会は、実際に遺跡を歩きながら考古学に親しむことを目的に、県立博物館友の会との共催で実施しています。

今年度は8月22日（日）に、御所野遺跡や豊岡遺跡など、県北の著名な縄文遺跡を歩きました。一般及び博物館友の会会員37名の参加で、天気にも恵まれ、爽りの多い見学会でした。

今回はこれまでの現地見学会をふり返るとともに、今年度の現地見学会の様子を紹介します。

これまでの現地見学会

考古学セミナー・現地見学会では、大型バスを貸切り、博物館発着（盛岡駅西口経由）で、テーマに沿って各地の遺跡に向かいます。遺跡では調査担当者等による解説があり、時には危険のない範囲で藪をこいだりすることもありました。

昨年度までの現地見学会のテーマと見学地は次のとおりです。

・平成16年度「考古学から見た平泉周辺の世界遺産」(衣川遺跡群・長者ヶ原廃寺・

骨寺村荘園遺跡等)

・平成17年度「考古学から見た北上周辺の古代文化」(江釣子古墳群・国見山廃寺跡・聖塚・立花毘沙門堂等)

・平成18年度「考古学から見た江刺周辺の古代文化」(万松寺経塚・五位塚墳丘群・豊田館跡・鶴羽衣柵跡等)

・平成19年度「夏休み！1日考古学チャレンジ」(川目遺跡の発掘体験)

・平成20年度「遺跡から見た平泉の文化遺産」(中尊寺跡・観自在王院跡・志羅山遺跡・白山社遺跡・無量光院跡)

世界遺産登録に向けた「平泉の文化遺産」や、当館考古部門の調査研究「前平泉文化の研究」に関連した内容が多かったようです。一方、19年度は企画展「北の縄文文化回廊展」の関連企画として、家族向けの発掘体験を実施しました。

今年度の現地見学会

今年度は「体感！縄文遺跡」というテーマで遺跡を歩きました。最初の湯舟沢遺跡（滝沢村）では、縄文後期の環状列石（ストーンサークル）と滝沢村埋蔵文化財センターの展示室を見学しました。

御所野遺跡（一戸町）では、ポランテ

ィアガイドの説明で縄文中期の大規模なムラの跡を一周し、御所野縄文博物館の展示を見学しました。ここで昼食、縄文の風を感じながら、遺跡のベンチ等でお弁当を開きました。

豊岡遺跡（岩手町）は、出土資料の豊富さで知られ、当館展示室で展示している土器や土偶も数多くあります。残念ながら発掘調査は見学できませんでしたが、今も残る地形や現在の田園風景に縄文文化を感じることができました。

道の駅・石神の丘で休憩の後、最後に見学したのは芋田沢田Ⅳ遺跡（盛岡市玉山区）です。渋民バイパス建設に伴う発掘調査が行われている遺跡で、県の埋蔵文化財センターのご厚意で特別に見学させていただきました。

直径11mの大形の竪穴住居跡や、長方形に並ぶ6本の大きな柱、ムラの中央部にある環状列石など、現在進行形の遺跡の調査状況を見学することができました。

来年はついに県外へ。北東北三県共同展に関連して、秋田県横手市周辺の、後三年合戦の舞台を歩いてみたいと考えています。



藤原経清の墓とされる五位塚（18年度）



観自在王院跡舞鶴が池（20年度）



芋田沢田Ⅳ遺跡の大形の竪穴住居跡（21年度）